

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2004-304831(P2004-304831A)

【公開日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2004-042

【出願番号】特願2004-153702(P2004-153702)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

G 03 B 17/18 (2006.01)

G 03 B 17/48 (2006.01)

H 04 N 101/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

G 03 B 17/18 Z

G 03 B 17/48

H 04 N 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月6日(2005.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

動画像を撮影する動画撮影モードと静止画像を撮影する静止画撮影モードとを有する撮像装置であって、

前記撮像装置の電源をオン／オフする電源ボタンと、

前記動画撮影モード及び前記静止画撮影モードのいずれかを選択する撮影モード選択手段と、

前記撮像装置が電源オフの状態で前記動画撮影モードが選択された場合には、電源オンの後、直ちに動画撮影の開始を指示する第1の撮影制御手段と

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項2】

動画像を撮影する動画撮影モードと静止画像を撮影する静止画撮影モードとを有する撮像装置であって、

前記動画撮影モード及び前記静止画撮影モードのいずれかを選択する撮影モード選択手段と、

前記撮像装置が電源オンの状態で前記動画撮影モードが選択された場合には、直ちに動画撮影の開始を指示する第2の撮影制御手段と

を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項3】

動画像を撮影する動画撮影モードと静止画像を撮影する静止画撮影モードとを有する撮像装置であって、

前記動画撮影モード及び前記静止画撮影モードのいずれかを選択する撮影モード選択手段と、

前記動画撮影モードにおいては、1回のシャッター操作により、静止画像を少なくとも

1枚撮影し、前記静止画像の撮影に連続して動画像を撮影することを指示する第3の撮影制御手段と、

前記動画撮影モード及び前記静止画撮影モードにて撮影された撮影画像を記録する記録手段と、

撮影された動画像を記録するための動画像ファイルを作成する動画像ファイル作成手段と、

撮影された静止画像を記録するための静止画像ファイルを作成する静止画像ファイル作成手段と

を備え、

前記動画撮影モードにおいて撮影された静止画像と前記静止画撮影モードにおいて撮影された静止画像とは、それぞれが記録される静止画像ファイルに連番を含むファイル名が付されて、前記記録手段における同一のフォルダ内に記録されることを特徴とする撮像装置。

【請求項4】

更に、前記記録手段より、前記動画像及び前記静止画像を読み出して表示する表示装置と、

前記静止画像の撮影に連続して撮影された動画像が記録されている場合には、前記静止画像に所定のマークを付けて表示する静止画像表示制御手段と、

静止画像を選択する静止画像選択手段と、

前記静止画像選択手段により選択された静止画像と、前記静止画像の撮影に連続して撮影された前記動画像とを、前記表示装置にて再生する動画再生制御手段と

を備える請求項3に記載の撮像装置。

【請求項5】

前記静止画像表示制御手段は、連続して撮影された動画像が記録されている静止画像及び連続して撮影された動画像が記録されていない静止画像の表示順序を制御する請求項4に記載の撮像装置。

【請求項6】

更に、前記記録手段より、前記動画像及び前記静止画像を読み出して表示する表示装置と、

前記静止画像の撮影に連続して撮影された動画像が記録されている場合には、前記静止画像に所定のマークを付けて表示する静止画像表示制御手段と、

静止画像を選択する静止画像選択手段と、

前記静止画像選択手段により選択された静止画像と、前記静止画像の撮影に連続して撮影された前記動画像とのいずれか一方あるいは両方を送信する送信手段と

を備える請求項3に記載の撮像装置。

【請求項7】

前記静止画像表示制御手段は、連続して撮影された動画像が記録されている静止画像及び連続して撮影された動画像が記録されていない静止画像の表示順序を制御する請求項6に記載の撮像装置。